



奥村陽子さん  
(水口町和野)

## 地域の仲間で生きがいづくり

「地元の野菜はとにかく味が違います。野菜のうまみだけで調理できます。そんな野菜本来のおいしさを多くの人に知ってもらいたいです。」と話す奥村陽子さん。地元産の食材を使って食に関するいろんな活動を展開するグループ「ピースフルフィールド」のメンバーとして、地元の食材を使ったオリジナル料理を研究されています。

「ピースフルフィールド」はその名の通り水口町和野地域の仲間6人が集まるグループ。ご近所付き合いをしていた仲間が生きがいづくりのため集まり、せっかくだから地域を盛り上げていけるような活動を、との思いで始められました。

同グループでは、6人それぞれが得意分野を生かし、リーダーとなって米や大豆など地元の食材を使った料理の体験教室を企画しおいしさをアピール、口コミで市外からも多くの参加者があるそうです。

基本は仲良く、楽しく。半分趣味で半分生きがい活動しているという奥村さんですが、メンバーで切磋琢磨しながらいろんな料理を試作し、研究される姿には、郷土への愛着がひしひしと感じられます。「地元のおいしい野菜を食べると、自分たちはこんなに良いところに住んでいるんだな、と実感します。そんな地域で同じ思いを持った仲間めぐり会えたことは大きな財産です。これからは刺激しながら活動を続けて、最後の最後まで支えあっていきたいです。」と話す奥村さん。

これからのグループの展開は現在模索中とのことですが、これからも素敵な地元料理をつくり続けられることでしょう。



▲ピースフルフィールドの活動の様子(右から2人目が奥村さん)

## ものづくりのまち『甲賀』での活躍に期待

～市新就職者激励会を開催～

**5**月15日、忍の里プララで本年度当市へ就職された方へ新就職者激励会が開催されました。この日は、工業団地や地場産業などの市内の各企業に新たに就職された方約200名が参加、当市での就職に決意もひとしおのようでした。激励会には、中嶋市長も出席、景気低迷が続く中、各企業の新就職者の皆さんへの期待感が大きいこと、またこれからは各企業の看板を背負うことを話しながら激励の言葉を贈りました。新就職者の皆さんには、ものづくりのまち『甲賀』を支える一人として、また当市発展のためのさらなるご活躍に大きな期待が寄せられています。

▶中嶋市長に決意を述べる辻寅建設株の吉本里志さん



## 新緑の里山と歴史を満喫

～忍者の里山ウォーク～

**忍**者ゆかりの地を歩き、歴史に触れ自然を楽しむ忍者の里山ウォークが、4月26日行われました。このイベントは甲賀町と甲南町の観光協会の共催により行われ、第3回目となる今回は、遠くは愛知県などからの参加者を含め約80人がJR甲南駅を出発し、忍術屋敷、六角堂、創造の森、大鳥神社など歴史と自然を織り交せたコースでウォーキングを楽しみました。昼食時には地元産のずりんこ米を使用したお弁当も販売され、参加者の皆さんは、忍者気分になりながら新緑の里山を楽しみました。



▲神社の歴史を興味深く観察する参加者の皆さん

## 270年ぶりの改築に向け旧東海道を巡行

～田村神社お木曳行事～

**旧**東海道を響く「エンヤ」の掛け声。5月10日、土山町の田村神社で、270年ぶりに行われる2012年の本殿の改築に向け、造営用材を運び込む「お木曳行事」が行われました。この日は、氏子をはじめとする700人を超える地域の方や、伊勢市から北浜連合奉曳団の方が集まり、境内で伐採された樹齢400年のヒノキ材(長さ7メートル、直径50～60センチメートル、重さ2トン)が市役所土山支所前の特設会場から旧東海道を通り、田村神社へ運び込まれました。旧東海道や神社境内には、二度と見ることができない貴重な行事を見ようと多くの人が訪れ、歴史的行事は大きな賑わいを見せました。



▲奉曳車を引く参加者の皆さん

## 森を舞台にゲームやクイズ

～みなくち子どもの森・森まつり～



▲公園内のポイントでクイズに挑戦

**み**なくち子どもの森で、5月4日から6日に「森まつり」が行われ、春の自然を楽しもうと家族連れをはじめ400人を超える人が訪れました。イベントでは、同施設の自然公園を舞台に、自然を使ったゲームやクイズなどが行われ、生き物や植物を見つけて揃えるビンゴゲーム「森のいきものビンゴ」では、子どもたちが一生懸命自然を観察、ビンゴを揃える子どもたちが続出しました。また、イベントの最後には、竹と木の実を使った動物の飾りの工作キットがプレゼントされ、参加者は楽しそうに作りながら春の自然を満喫しました。

## 世界記録選手誕生

水口スポーツセンター

～マスターズ水泳・門坂芳子さん～

**水**口スポーツセンター「We'll Be」で泳法指導に当たっている門坂芳子さんが、4月5日に愛媛県松山市で行われた日本マスターズ水泳短水路大会の女子50メートル自由形(60・64歳区分)で30秒93の世界記録を樹立されました。

門坂さんは、中学から水泳を始め、1967年のメキシコオリンピック候補として活躍されましたが、代表入りは惜しくもかきませんでした。その後同スポーツセンターで指導をされると同時に自身もトレーニングに励み、40年ごしの想いが身を結ぶ結果となりました。



▶世界記録突破証を手に、喜びの門坂さん